

2018 FIA F1世界選手権シリーズ第17戦 Honda日本グランプリレース 鈴鹿30回記念大会 ルーベンス・バリチェロ来場決定／鈴鹿30回記念の新たなデモランマシンも登場

鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）で10月4日（木）～8日（月・祝）に「2018 FIA F1世界選手権シリーズ第17戦 Honda日本グランプリレース 鈴鹿30回記念大会」に、元F1ドライバーのルーベンス・バリチェロ氏の来場が決定いたしました。また、鈴鹿サーキットでのF1日本グランプリ開催30回を記念したデモランイベント「Legend F1 SUZUKA 30th Anniversary Lap」に、1988年のF1日本グランプリで8位となった「AGS JH23」の出走が決定しました。

ルーベンス・バリチェロ 来場決定

ルーベンス・バリチェロ

バリチェロ氏は、1993年～2011年まで、18年間F1ドライバーとしてグランプリに参戦。史上最多のF1参戦記録を持つレジェンドドライバー。

2003年の鈴鹿サーキットで開催された日本グランプリでは優勝を飾り、所属チームのフェラーリはコンストラクターズタイトルに輝いた。2006年～2008年はジェンソン・バトン選手とともにHondaのドライバーとしてシーズンを戦った。



2003年日本グランプリで優勝したルーベンス・バリチェロ氏

【ご参考】発表済の鈴鹿F1日本グランプリゲスト

中嶋悟氏（1987年～1991年）、鈴木亜久里氏（1988年～1995年）、ジャン・アレジ氏（1989年～2001年）、ミカ・ハッキネン氏（1991年～2001年）、デimon・ヒル氏（1992年～1999年）、片山右京氏（1992年～1997年）、フェリペ・マッサ氏（2002年、2004年～2017年）、佐藤琢磨選手（2002年～2008年 2017年）、中嶋一貴選手（2007年～2009年）

AGS JH23 デモラン決定

AGS JH23（1988）

南フランスのAGSチームは、F3、F2、F3000を経て、1986年の後半からF1に進出。その1988年用マシンがJH23。小型、低重心の優れた設計だった。ドライバーにはF2、F3000時代に同チームで活躍したフィリップ・ストレイフを起用。非力なコスワースDFZエンジンながら、カナダグランプリでは予選10位、決勝では一時4位を走行する速さも見せた。小規模チームゆえの信頼性の低さが弱点だったが、鈴鹿の日本グランプリではシーズン最高位の8位完走を果たした。



1988年日本グランプリでのAGS JH23

【ご参考】発表済の鈴鹿F1日本グランプリ参加マシン

Ferrari F187（1987）、Lotus 100T（1988）、Benetton B189（1989）、Lola LC90（1990）、Tyrrell 019（1990）、McLaren MP4/6（1991）、Ferrari 412T2（1995）、McLaren MP4-13（1998）、Ferrari F2005（2005）、Ferrari 248F1（2006）、Ferrari F10（2010）

■ Legend F1 SUZUKA 30th Anniversary Lap走行時間

10月5日（金）16:00～16:30 練習走行

10月6日（土）16:30～17:15 スペシャルステージデモンストレーション：イン・アウトラップを含め、フルコースを3周※タイムを競うのではなく、1台ずつマシンが走行し、お客様にじっくりとマシンを観ていただく企画です。

10月7日（日）10:25～10:45 デモンストレーションラップ

※ルーベンス・バリチェロ氏、デimon・ヒル氏、片山右京氏は、本イベントへの参加はございません